

No.20 灰垣委員

今、事業手法や費用やいろいろなお話が出て、大きなプロジェクトであるということで、2月14日付のリビングというこの広報紙、見られた人もいらっしゃるかもしれません。

2人の女性が奥本市長と茨木の野村市長にインタビューをするという設定になっているようですけれども、この高槻市民の名前が出ていますので、白石さんですか、クエスチョン5で、次世代に残したい高槻自慢は何ですかという質問に対して、市長が、高槻には今城塚を初め安満宮山、鬮鶏山など古墳が多く残っていますと。歴史的遺産を公園などに整備して、町並みとしてきれいに保存したいですと。こういったお答えをされているんですけれども、いろいろお話をお伺いして、この遺跡、史跡等、興味のある人は非常に興味をお持ちで、これに一生懸命取り組まれていると。私もそういう方をいろいろ知っていますけれども、今、市民参加というお話がありました、広く36万人弱の市民の皆さんに、市長も誇りと愛着というふうにおっしゃいましたけれども、この貴重な遺産を残しながらそれをどう植えつけていくかとか、市民の皆さんにどう認識してもらうかということを私は考えていただきたいと思っています。

ハード面の手法等、いろいろ議論はあるところかもしれませんが、素晴らしいものができたけれども、市民の方が全く利用しないような施設をつくってしまったら、今、非常に財政が厳しい——これは民間もそうですし、自治体もそうですけれども、厳しい中で箱物といいますか、そういうものをつくるというのは非常に勇気の要ることですので、その費用に見合ったものをつくっていただきたいという、そういう決意みたいなものを改めてお示しいただければなと思っておりますので、よければご答弁をいただければと思います。

No.21 福田政策統括監兼市長公室長

この安満遺跡、京大農場側の部分でございますけれども、議会から有効に活用すべしとご意見もいろいろとちょうだいしているところでございます。私どもとしまして、貴重な遺跡がある、あるいは先ほども説明しましたとおり、非常に交通の利便がいい場所であり、この都心部に残された貴重な空間でございます。財政も厳しい折でございますので、市民にも喜ばれて利用されるような施設になるようにすべきだとも考えております。

具体の中身につきましては、検討委員会あるいは議会、市民の皆様のご意見も聞きながら、ここは慎重にきっちりと検討してまいりたいと考えておりますので、いろいろとまたご指導のほどよろしくお願ひしたいと思います。

No.22 灰垣委員

先ほど、学習の場というふうに宮本委員もおっしゃっていましたが、遺跡等を見て、いにしえのことを思い起こすということだけではなくて、その遺跡を見て、その集落を見て人間を見るといいますか、そういった部分までこの史跡整備の中で吸収できるような、そういったソフト面もしっかりとこれから議論をしていただかなくてはいけないのではないかなと思っています。

全国的にも岡山であるとか高崎市、群馬ですか、吉野ヶ里とか、いろいろなところを参考にはされると思うんですけども、ソフト面の部分——抽象的な言い方ですけども、そういったものをしっかりと検討していただいて、高槻でこれだけのお金を使ったけれども、これだけ皆さんに喜ばれていますよというようなものを、ぜひつくり上げていただきたいということをお願い申し上げます。以上でございます。